

The288th Programming Deliberation Committee

第288回番組審議会 議事録

開催日 2025年5月20日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：

『Dr. 苜米地 Cosmic Radio』

放送日時：2025年4月17日(木) 24:00～24:30

DJ：苜米地英人

会社からの説明

今年4月よりスタートした、認知科学者・苜米地英人が最新ニュースからテーマを設定して解説する1人語りの番組です。

認知戦、AI、仏教、コーチングなどさまざまな専門知識を持ち、オウム真理教信者への脱洗脳を行ったことでも知られる苜米地氏が、政治・経済・テクノロジーをはじめ芸能ニュースまでリスナーが今を生きる上で知っておいて欲しい最新の知識やニュースを深掘りし、独自の抽象度の高さでトークを展開させています。

木曜日深夜0時、にわかに信じがたい、真実をひっそりと伝える異次元世界がラジオの中に現れるというイメージで、番組を演出。難易度の高い内容のため、podcastにて二度聞きを推奨しております。

委員からの意見・感想

審議委員A

一言で言うとタイパの良い速読のような番組だと感じた。世の中で興味のあるバズワードの受け皿になれる番組。わからない専門用語や苜米地さんの独自の言葉が回収不可能なまま終わっているのが、番組ホームページやXで謎解きのような解説や見出しのまとめ記事があった方が良いのではないか。

脳疲れを解消するような音楽のかけ方の工夫があっても良いと思った。

審議委員B

今、興味のあるテーマですごく面白かった。ただ1人喋りなので、YouTubeなどと比べて、ラジオでやる意味はどこにあるのかと感じた。苜米地さんのファン以外のリスナーにも向けるのであれば、話が難しいので間にテーマを挟むなどの工夫が必要なのではないか。

30分での情報量はすごく多くて聞き応えはあった。この番組を聴いて、「こんなこと言ってたよ」と持って帰れるものが具体的に一つ残ると良い。

審議委員 C

苦米地さんの話す内容は興味深いが、1 人語りはネットラジオのようで放送番組としての価値、特異性、有益性が希薄だと感じた。

かかっている音楽も苦米地さんがうんちくを語るなど、トークと繋げる必要があるのではないか。さまざまなネットメディアが増えている中、演出力、構成力、キャスティング力こそが放送局の強みだと認識しないと放送の存在意義が問われるのではないか。

審議委員 D

苦米地さんの良い意味でリスナーを置いてけぼりにするくらいの圧倒的な知識とインテリジェンスにより、聴く人が聴けばすごく面白い話だと思った。苦米地さんの 1 人語りではなく聞き手がいた方が、リスナーにはわかりやすいと思うが、この苦米地節がファンにとってはたまらない魅力なので、このまま突っ走って欲しい。

ラストで苦米地さんの声に被さるようにナレーションが流れてきたのは、あまりにも“らしい”感じで面白かった。

審議委員 E

面白いが怖くもあるテーマ設定であった。テンポもよく、1 人語りで良いと思う。ただ、置き去りにされた部分があったので、聴き直す必要がある。プレイバックとして podcast で聴き返す事ができる旨を番組内でも何度かインフォメーションがあった方が良いと感じた。

一会社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上